

(2) 様式第7号-2 (報告書)

□報告書 (実施要項、テキスト(教材、レジメ、演習問題)等を含む) については、A4判で、10～

40頁 とすること。

□文書ファイル形式「ジャストシステム株式会社 一太郎」の文書ファイル形式 又は「マイクロソフト株式会社 WORD」の文書ファイル形式とする

(独立行政法人教職員支援機構委嘱事業)

教員の資質向上のための研修プログラム開発支援事業報告書

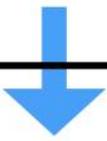
プログラム名	「考え、議論する道徳」を実現する研修プログラム
プログラムの特徴	1) 本事業で作成した研修用テキストは以下の3項を擁している。 1 具体的な発問・指示および板書例・ノート指導例の掲載 2 実際の教材文を用いて展開する、1時間の授業の組み立てとその類型の提示 3 現場ですぐに利用できる評価方法(所見例、評価例)の提案 2) 研修用テキストは効果検証と改善のプロセスを経たテキストである。

平成31年 3月

機関名 特定非営利活動法人T O S S 連携先 担当: 水川勝利
: 03-5702-5835/03-5702-2384
: mizukawa.katsutoshi@toss2.com

プログラムの全体概要

特別の教科 道徳に関する現場の教師たちの悩み 「考え、議論する」「1時間の組み立て」「評価」 を具体的にどうすればいいの？



学習指導要領の読み込み

平成29年6月告示 新学習指導要領 道徳

道徳的価値の理解に基づいて自己を見つめ、自己の生き方についての考えを深める観点から、話し合う活動や書く活動など児童一人一人の感じ方や考え方を表現する機会を充実し、自らの道徳的な成長を実感できるようにすることが大切である。

具体的に次のような指導方法の工夫が考えられる。

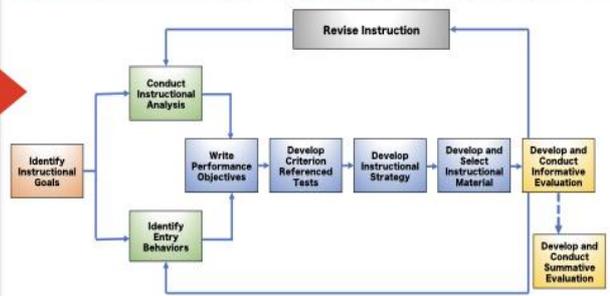
ア 児童が問題意識をもち、意欲的に考え、主体的に話し合うことができるよう、ねらい、児童の実態、教材や学習指導過程などに応じて、発問、話し合い、書く活動、表現活動などを工夫する。

イ 教材や体験などから感じたこと、考えたことをまとめ、発表し合ったり、話し合いなどにより異なる考えに接し、多面的・多角的に考え、協同的に議論したりするなどの工夫をする。

ウ 道徳的諸価値に関わる様々な課題について議論を行い自分との関わりで考察できるような工夫をする。

科学的な教材設計

Systems Approach Model for Developing Instruction



Walter Dick, Lou Carey, James O. Carey (1978) [Systematic Design of Instruction] Scott, Foresman and Company



- 1 欧米等で用いられている教材開発手法を参考にし、科学的根拠のあるテキスト作りを目指した。
- 2 学術的な定義は全て文部科学省等の公的資料に基づく者とした。
- 3 新採用～10年目までを対象とし、すぐに学校現場で使うことができるテキストを開発した。

〈開発テキスト〉

- 1 「考え、議論する道徳」のための発問・指示
- 2 道徳科の授業の1時間の組み立て方
- 3 道徳科の授業の「評価」方法

特別の教科 道徳 指導法研修テキスト 全3冊



「考え、議論する道徳」
のための発問・指示



道徳の授業の
1時間の組み立て方



道徳の授業の
「評価」方法

1 開発の目的・方法・組織

1 開発の目的

平成 29 年 6 月、新しい学習指導要領が告示された。そこで道徳は「特別の教科」となり、教科としての性格を帯びることとなった。私たち TOSS は全国各地で勉強会を開いている。そこで全国各地の国公私立の学校現場で働く教師から、様々な声をいただいている。新学習指導要領告示後、道徳に関する声が多数寄せられるようになった。「道徳が教科化されたのですが、どのように 1 時間授業すればいいのですか?」「道徳の評価はどうすればいいのですか?学校でもなんども会議が持たれていますが、方向性がはっきりしません」「考え、議論する道徳ってどうすればいいんですか?」学校現場で働く教師たちの悩みや戸惑いは切実である。これは全国各地で勉強会を開いている私たちが、全国の教師たちに直に聞いた「現場の声」である。これらの現場で働く教師たちの声に応えるべく、道徳授業のテキスト開発に着手することになった。

行政から働き方改革に対する指導が全国各地の学校に入っている。よって本テキストは「時間をかけて教師がよく理解しないと、教室で実践することはできない」という非常に抽象的かつ難解なものではなく、「明日の教室で実践できる」という使いやすさを重視した。

2 開発の方法

道徳教育の研究・実践経験の豊富な、教師経験 15 年以上のベテラン教員を中心に、3 つの研究チームをつくり、それぞれが『「考え、議論する道徳」のための発問・指示』『道徳の授業の 1 時間の組み立て方』『道徳の授業の「評価」の方法』について、担当した。

先行研究、先行実践を文献等で精査した後、できるだけ教室の実践にそのまま活用できる事例を中心として抽出した。さらに、学校で手軽に活用できるよう、簡便なテキストの形式で構成した。

3 開発組織

TOSS (Teachers' Organization of Skill Sharing) に集う教員より、テキスト開発チームを組織し、開発にあたった。

表 1 組織体制

所属・職名	氏名	担当・役割
特定非営利活動法人 TOSS・理事長	向山洋一	統括責任者・テキスト監修
玉川大学教職大学院・教授	谷和樹	運営責任者・テキスト編集
栃木県公立小学校・教諭	松崎力	テキスト開発
日本文化大学講師	木村重夫	テキスト開発

2 開発の実際とその成果

□ 講座

○ 研修の背景やねらい

中教審の答申等に見られる通り、道徳教育の質的な転換が求められている。しかし、学校現場では、通知表の所見が増えた負担をどうするかといった表面的な対策に追われ、改革に向けた教材分析や授業方法の検討は遅れているのが現状である。

こうした状況を改善するために、教員向けの分かりやすく実行しやすい研修テキストを開発することをねらいとした。

10 月 11 日(木)にテキスト(紙媒体)を用いて実施した研修を【研修 1】とする。

【研修 1】実施後、特設サイトで事前アンケートに答えた全国の教員がダウンロードできる同テキストの電子媒体(PDF)を用いて前記教員が各勤務先等で実施した研修及び授業等を【研修 2】とする。

【研修 1】実施のため、また紙媒体のテキストを要望する教員の要望に応えるため、部数は 3 種、各 500 部、合計 1500 部制作した。

【研修2】の実施のため、作成したテキストは申し込みフォームに記入の上、WEB からダウンロードできるようにした。【研修2】を実施していただいた後、研修の効果、先生方の感想、授業での児童・生徒の様子、児童・生徒の感想などを WEB アンケートフォームから収集し分析することで、効果検証し、今後の改善に生かす。

【研修1】の概要

○ 対象、人数、期間、会場、日程講師

対象：公立小中学校の現役教諭

人数：43名

期間：10月11日(木) 18:00～19:30

会場：東京都品川区東京都品川区西中延3丁目14-2 第2TOSビル

講師：玉川大学 教職大学院教授 谷 和樹

○ 各研修項目の配置の考え方（何をどの程度配置すべきと考えたか）

開発したテキストを用いて、どのように学校現場で実際に子供相手に授業をするのかについて谷和樹教授からレクチャーの実施。

内容はテキストを手にとるだけではわからない、授業方法についてのレクチャーであること。特に道德の評価方法については、子供の内面に根ざした評価に傾倒しすぎず、あくまでも客観的に、定数的・定量的に道德の評価を行う重要性についての指導がを目的にし、さらに、毎時間「考え、議論する道德授業」を行えばいいのではなく、子供の発達段階に根ざしながら、学校の教育計画とも照らし合わせて実施すること、また、1時間の道德授業の展開例を具体的に紹介すること考えた。

各テキストの背景やねらい、目次、分量及び教材としての掲載作品を以下に記す。

TEXT No.1：「考え、議論する道德」のための発問・指示

○背景やねらい

「考え、議論する道德」を実現するためには、子供の意見が分かれたり、対立したりする発問・指示が必要である。そこで子供に主人公の言動に賛成か反対か、自分ならどうするかを考えさせること。

また、すぐ使える多くの実践例を担保するため、各社の教科書に掲載されている作品、6話を掲載した。

○目次 「考え、議論する道德」のための発問類型4パターン

1：自我関与を促す発問

「あなたが主人公ならばどうしますか。」

2：登場人物の言動を検討させる発問

「あなたは主人公の行動に賛成ですか、反対ですか。」

3：多面的・多角的な思考を促す発問

「他にどのような行動がありえたでしょうか。」

4：ターニングポイントを問う発問

「いつの時点ならば、他の行動ができたでしょうか。」

○前記目次に対応するテーマと分量

1：高学年「正直、誠実」、3頁分

2：中学年「規則の尊重」、3頁分

3：高学年「親切、思いやり」、中学年「友情、信頼」、低学年「親切、思いやり」、9頁分

4：中学年「正直、誠実」、4頁分

○前記目次に教材として掲載した作品

掲載作品

- 1：手品師/光村図書「道徳6 きみが いちばん ひかるとき」（平成30年度版）
- 2：雨のバスでいりゅう所で/光文書院「小学 どうとく ゆたかな心4年」（平成30年度版）
- 3：最後のおくりもの/日本文教出版「小学校道徳 生きる力6」（平成30年度版）
泣いた赤おに/学研教育みらい「みんなの道徳 4年」（平成30年度版）
はしのうえのおおかみ/光村図書「どうとく1 きみが いちばん ひかるとき」（平成30年度版）
- 4：ひびが入った水そう/東京書籍「新しいどうとく4」（平成30年度版）

TEXT No. 2：道徳の授業の1時間の組み立て

○背景やねらい

子供たちを熱中させる道徳の授業を実現するためには、組み立てに工夫が必要である。子供たちが考え、議論するためには、どのような組み立てが効果的か、このテキストを使って学習できるようにすること。

また、すぐ使える多くの実践例を担保するため、各社の教科書に掲載されている作品、7話を掲載した。

○目次

- 1：安定型 定番といわれる授業の組み立て方
- 2：議論型 議論を引き出す授業の組み立て方
- 3：活動型 活動につなげる授業の組み立て方
- 4：感動型 感動に触れさせる授業の組み立て方
- 5：自我関与 自我関与に焦点を当てた授業の組み立て方
- 6：批判型 教材を批判する授業の組み立て方
- 7：知識理解型 知識理解を元にした授業の組み立て方
- 8：コンテンツ型 コンテンツを使った授業の作り方

○前記目次に対応するテーマと分量

- 1：3年「家族愛、家庭生活の充実」、4頁分
- 2：6年「規則の尊重」、3頁分
- 3：4年「公正、公平、社会正義」、2頁分
- 4：6年「感動、畏敬の念」、2頁分
- 5：5年「善悪の判断、自律、自由と責任」、2頁分
- 6：5年「相互理解、寛容」、3頁分
- 7：道徳性を高めるための知識例、2頁分
- 8：6年「よりよい学校生活、集団生活の充実」、2頁分

○前記目次に教材として掲載した作品

- 1：お母さんのせいきゅう書 / 日本文教出版「小学校道徳 生きる力3」（平成30年度版）
- 2：星野君の二るい打 / 廣済堂あかつき「小学生の道徳 みんなで考え、話し合う 6」（平成30年度版）
- 3：ヘレン・ケラー物語/学研教育みらい「みんなの道徳 4年」（平成30年度版）
- 4：青の洞門 / 菊池寛「恩讐の彼方に」をもとに作成
- 5：くもの糸 / 芥川龍之介「蜘蛛の糸」をもとに作成
- 6：ブランコ乗りとピエロ / 学研教育みらい「みんなの道徳 6年」（平成30年度版）
- 7：ラグビー日本代表のかがやき/学研教育みらい「みんなの道徳 6年」（平成30年度版）

TEXT No. 3 : 道徳の授業の「評価」方法

○背景やねらい

教科になった道徳は、評価の必要がある。では、具体的にどのように評価してゆくのか。評価の方法について学ぶ。

○目次

- 1 : 通知表の評価例：一面的な見方から、多面的・多角的な見方へ
- 2 : 通知表の評価例：道徳的価値の理解と自分自身との関わり
- 3 : 指導要録への記入 ～大きくくりなまとまりを踏まえた評価～
- 4 : 授業の最後のまとめ方
- 5 : 発言や書くことが苦手な子への配慮
- 6 : 子供の感想以外から評価する
- 7 : 行事を道徳の授業に生かす
- 8 : 避けたい評価例

○前記目次に対応するテーマと分量

- 1 : 小学校1～3年生用、3頁分、小学校4～6年生用、3頁分
- 2 : 小学校1～3年生用」、3頁分
- 3 : 指導要録への記入 ～大きくくりなまとまりを踏まえた評価～、1頁分
- 4 : 授業の最後のまとめ方、1頁分
- 5 : 発言や書くことが苦手な子への配慮、1頁分
- 6 : 子供の感想以外からの評価、1頁分
- 7 : 行事を道徳の授業に生かすこと、2頁分
- 8 : 避けたい評価例、2頁分

○各研修項目の内容、実施形態（講義・演習・協議等）、時間数、使用教材、進め方

□実施方法については、具体的に記述すること

研修項目	時間数	目的	内容、形態、使用教材、進め方等
【研修1】： テキスト（成果物）を用いた講義	1	直接、教員に講義すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・内容：「考え、議論する道徳」のための発問・指示、道徳の授業の1時間の組み立て、道徳の授業の「評価」方法等について。 ・実施形態：成果物としてのテキスト3種を用いての講義。 ・使用教材：当事業の成果物としてのテキスト3種 ・進め方の留意事項：講義前に、参加者から「特別の教科 道徳」を授業するにあたっての問題とされていることを聴取し、講義前と講義後の変化を収集したこと。 ・その他：なし。
【研修2】： ダウンロード版テキスト3種（成果物のPDFデータ）の配布		全国の教員に各勤務校にて研修してもらうこと	ダウンロード版テキスト3種（成果物のPDFデータ）を全国の教員がダウンロードし、テキストに則って各勤務校で自主的な研修、または授業での使用をしていただき、使用後の感想を収集し、今後の改善に生かす。 ダウンロード件数は1296件。

※実施要項、テキスト（教材、レジメ、演習問題等）、その他参考となる資料添付すること。

□DVD教材等を作成した場合は、当機構宛に郵送してください。

○実施上の留意事項

- ① : 開発者側の独自の道徳的解釈を押し付けるのではなく、公的な文章に則り、テキストを

作成し、講義した。

②：各社の教科書に掲載されている作品をテキストに配置した。

③：事前アンケートと事後アンケートを比較し、多くの教師の意見を参考にした。

○ 研修実施上の課題：なし。

○研修の評価方法、評価結果

【研修1】

研修の評価方法：受講者からのアンケートをもとにした。

評価結果：43名全員から具体的で役立つのこの評価を得た。5名からNITSのHPからダウンロード出来るようにしてほしいとの要望があった。

【研修2】

研修1実施後、特設サイトを設け、事前アンケートに回答した教員に当該テキスト3種のPDFデータをダウンロードしていただき、各勤務校での研修や実際の授業での実践を依頼した。また実施後のアンケート回答も要望した。

ダウンロード件数：1296件

実施後アンケート回答数：231件

前記アンケート内で各勤務校で研修を実施した教員の感想例を以下に記す。

アンケート項目：

『校種と担当学年/教職経験年数（講師時代含む）/勤務校/テキスト使用後アンケート 項目1「道徳の典型的な授業パターン」（自分の考えで可）を何も見ないで三つ以上書けますか？/テキスト使用後アンケート 項目2「考え、議論する道徳授業」を展開するための「典型的な発問例」を三つ以上書けますか？/テキスト使用後アンケート 項目3「典型的な道徳の所見例」を何も見ないで3人以上書けますか？/テキスト使用後アンケート 項目4道徳の授業をどう展開したらいいのか悩むことがありますか？/「テキストのここを改善してほしい」という改善要望/テキストを使用した感想等』

1:小学校/20年以上/元兵庫県香美町立香住小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ない」/なし/サークルで模擬授業しました。若い先生に好評でした。編集に携わってくださった皆様ありがとうございました。

2:小学校（中学年）/20年以上/福井科研岡垣町立海老津小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ない」/なし/すぐわかりやすいです。3学期に校内で道徳の授業研究を行いました。私が授業をしたのですが、授業の前にテキストが出ました。これまで、道徳の研究をしていた学校に、私が赴任してすぐの授業。自分のしていることが間違いでないことが分かり、自信をもって授業をすることができました。様々な本を買って読みましたが、このテキストが一番教材研究に役立ちました。改善してほしいところは、今のところ見当たりま参考にならず申し訳ございません。感謝の気持ちを伝えたいです。ありがとうございました。

3:上記以外/10年未満/札幌市立中の島小学校//はい/はい/いいえ/どちらかといえば「ある」/3部作で使いやすいです。10分間のミニ研修用でどのように使うか迷っています。/研修とサークルで紹介と、読み合わせをしました。とくに、評価の方法、所見例に関心が高かったです。また、北海道特別支援教育部署の事務局長にも紹介しました。

4:小学校（中学年）/10年未満/佐賀県佐賀大学代用附属佐賀市立本庄小学校//はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/詳しく書いてあり、参考になりました。校内研修でも活用させていただきました。ありがとうございました。

5:小学校（低学年）/20年以上/長崎県佐世保市立相浦西小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ない」

/なし/サークルで活用しました。とても参考になりました。

6:上記以外/20年以上/和歌山県那智勝浦町立勝浦小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ない」/なし/指導教員の立場から初任者研修のテキストとして使用しました。初任者に役立つ分かりやすいテキストでした。

7:小学校(中学年)/20年未満/東京都稲城市立若葉台小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/実践例も豊富で、すぐに実践に移すことができました。[BR]校内での道徳の研修でもこの内容を扱わせていただきました。本当に具体的で分かりやすかったです。

8:上記以外/5年未満/長崎県大村市立竹松小学校/はい/はい/いいえ/どちらかといえば「ある」/なし/1もっと沢山の教材の発問例がほしい。2評価の所をもっとわかりやすく記述してほしい。/1非常に便利です。また読むだけでも大変勉強になります。2学生サークルで活用しています。学生のメモの手が止まりません。

9:上記以外/20年以上/島根県大田市立高山小学校/はい/はい/いいえ/どちらかといえば「ある」/2のテキスト程度の書き込みながら研修できるページを増やしてほしい。コンテンツの紹介とダウンロードして活用できるようにしてほしい。研修の仕方の紹介。できれば映像で。

10:小学校(高学年)/10年未満/奈良県広陵町立真美ヶ丘第二小学校/いいえ/いいえ/はい/どちらかといえば「ある」/改善はありません。/ご多忙とは存じますが、書籍化して頂きたいです。さらに、沢山の教材、できれば全ての価値項目に関する授業案「発問指示」が載っていること。さらに、評価の仕方などの文例も載せて頂くような書籍を作って頂けると大変勉強になりますし、実用的です。この度は、貴重なテキストをありがとうございました。

11:小学校(低学年)/5年未満/佐賀県玄海みらい学園/はい/はい/はい/どちらかといえば「ない」/なし/勤務校で道徳主任をしているため、2月の校内研修でテキストを使わせていただきました。授業の展開例や発問、所見の文例があるため、他学年の先生方からもとても好評でした。本校は義務教育学校のため、中学の先生方もテキストに興味をもたれていました。ありがとうございます。

12:小学校(低学年)/20年未満/北海道北見市立上常呂小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/素晴らしいテキストをありがとうございました。勤務校は、校内研究を道徳で行なっています。研究内容の中に「授業展開の工夫」「発問の工夫」があります。テキストの内容をかなり参考にさせていただきました。本当にありがとうございました。

13:小学校(低学年)/20年未満/名古屋市立桜小学校/はい/はい/いいえ/どちらかといえば「ある」/授業の例が分かりやすかったので沢山欲しい/所見を書くのと、校内の研究に役立ちました。ありがとうございます。

14:小学校(高学年)/10年未満/山口県下関市立長府小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/初任者研修の校内研修の一環として使いました。どこから教えればいいのか分からなかったので参考になりました。

15:小学校(低学年)/20年以上/福岡県北九州市立若松中央小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/まず、道徳の授業を「考え、議論する道徳」とし、4つの発問を示し、授業の中での発問の重要性を示した。次に、安定型・議論型・活動型・感動型・自我関与型・批判型・知識理解型・コンテンツ型の8つの型で、道徳の授業の組み立て方が、わかりやすくまとめられ、今まで漠然としていた道徳の授業形態が、スッキリしたものになった。これなら、若い先生方にも紹介することができ、追試可能だと感じた。その上、通知表の評価例が、子どものタイプ別に示され、道徳の評価する上での大きな指針を与えている。最後に、授業の振り返りの場面で、どのようなことを書かせていけばいいのかもよく分かる。苦手な子への配慮まであり、感想以外からの評価方法もある。他の教科でもこのような冊子があるといいと思った。これから若手が激増する教育現場にとって、なくてはならないものだと思う。

16：小学校（低学年）/5年未満/島根県出雲市立塩冶小学校/いいえ/いいえ/いいえ/どちらかといえば「ある」/なし/考え議論する道徳と言われても、何をどうしたらよいか分からない。実際に、学校でも議論をした。こうやってテキストになっていると実践しやすい。現場にいればこそ、こうしたテキストの貴重さが身に染みる。それに、子どもたちは熱中する。力ある先生方が作られたテキスト。使わせて頂けることに感謝します。

17：小学校（高学年）/20年以上/愛媛県西予市立宇和町小学校/いいえ/いいえ/いいえ/どちらかといえば「ない」/評価文がほとんど長めのため、短いバージョンもあるとありがたいです。/研修にぴったりでした。評価の冊子は今後も評価の際は、活用できます。

18：上記以外/20年以上/福井県越前市岡本小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/学び始めたばかりなのでまだありません。/・特に評価の記述については、具体的な児童の違いによって様々な所見が書かれてありとても理解しやすかった。・発問についても同様に具体的な教材をもとに書かれているので、そのまま追試という形で授業をすることができる。研修終了後に、とても良かったという感想が出た。・研修の進め方も、テキストに従って読み合わせをするだけでよく、時折出てくる疑問には研究主任や教務主任、校長などが経験をもとにテキストに沿った解釈を提示することで無理なく進められた。解釈があっていたら良いのだが。

19：小学校（高学年）/20年以上/島根県松江市立川津小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/職員会議で、資料を使わせていただいて評価についての研修をしました。実際の評価文をどう書くかと考えることで、テキストの意味が飲み込めました。研修方式のテキストになっていて、良かったです。

20：小学校（中学年）/20年以上/東京都小平市立小平第四小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ない」/なし/所見欄の書き方についてテキストを使用しました。校内の先生方が具体的に所見を書けるようになりました。OJTに適しているテキストです。

21：小学校（高学年）/20年以上/静岡県掛川市立大阪小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/なし/学校の職員の希望者に配布しました。特に、所見欄は、成績もあったので、好評でした。来年度道徳の授業を行うのに、参考になると思っています。ありがとうございました。

22：上記以外/20年以上/島根県浜田市立三階小学校/いいえ/いいえ/はい/どちらかといえば「ある」/なし/所見について、校内で指導する意味で、大変役立った。

23：小学校（中学年）/山口県周南市立鹿野小学校/はい/はい/はい/どちらかといえば「ある」/教科書別指導書/校内研修で活用しました。先生方が驚いておられました。本校にとってはとても役に立つ資料でした。ありがとうございます。

24：小学校（低学年）/20年以上/岡山県岡山市立西小学校/はい/はい/いいえ/どちらかといえば「ある」/教科書の実践例を全部ダウンロードできるようになるとありがたい。/非常にまとまっていて、定義もあり永久保存版になります。若手にもとてもわかりやすいと評判でした。

25：上記以外/10年未満/愛知県豊田市立高嶺小学校/い/はい/いいえ/どちらかといえば「ある」/なし/校内サークルで紹介しました。道徳に悩んでおられたので、参考になったと言われました。

前記アンケート内で実際に学校現場で授業等で使用した教師たちの感想例を以下に記す。

- ・くわしく書かれていてとても勉強になりました。自分の想像以上のテキストで驚きました。（島根県公立小学校・男性）
- ・板書例や子どもノート例もありカラーで解り易いです。ありがたい貴重なテキストに感謝です。（静岡県公立小学校・女性）
- ・今までにないものだったと思う。具体的な記述が役に立つし、これからも重宝するに違いない。このテキストを大いに参考にして、今後も道徳の授業を創っていきたいと考えている。ありがとう

うございました。（千葉県公立小学校・男性）

- ・道徳担当に渡したら、すぐにみてもらいました。テキストが無料なのは、大変ありがたいです！これからも活用していきたいと思います。（神奈川県公立中学校・男性）
- ・授業の型として分類されており、発問例まであるのでやりやすかった。また評価に関しても、様々なタイプに合わせた例文があるので参考にしやすい。（三重県公立中学校・男性）

・評価の例は、私の市町村ではあまり多く提示されていなかったもので、今年書くにあたってとても参考になりました。今後は、低中高学年の「熱中して考え、議論する道徳」となる授業の実践・発問の流れの例がより多く紹介されるといいと思います。（神奈川県公立小学校・男性）

- ・今年度後期内地留学にいていました。4月より現場に復帰します。復帰の際には、このテキストを使わせていただきます。（栃木県公立小学校・女性）
- ・道徳の展開に悩むことが多く、その際、テキストは非常に参考になりました。良いテキストをご提供いただき、ありがとうございました！（富山県公立中学校・男性）
- ・理論的な面と具体的な面が分かりやすく構成しており、特に所見をどうするか迷うところで、たくさん事例を手に入れることができました。（福岡県公立小学校・男性）
- ・時間の授業の組み立て方、発問・指示の仕方が大変分かりやすかったです。（新潟県公立小学校・女性）
- ・来年度から本格的に道徳が始まります。テキストのおかげで、授業の流れや発問指示の作り方の方針がつかめました。ありがとうございました。（東京都私立中学校・女性）
- ・道徳教材が全文引用されているのがありがたいです。そのまま印刷して授業で使えます。具体的な発問・指示や評価文例がたくさん載っていて、すぐに追試できます。テキスト通りに授業したら、子ども達が、「考え、議論する」授業が実現できました。「これが本当の道徳授業なんだ」とズシンと響く手応えを感じることができました。（東京都私立大学講師）

・具体的な授業展開例や評価文例がこまやかに書かれていてとても分かりやすかったです。特に、「考え、議論するための発問」のパターンがあることを知ることができたことが大きかったです。どの学習でどの発問をしたらいいか迷うこともありますが、このテキストのおかげで考えを整理することができました。（佐賀県公立小学校・男性）

・道徳が特別の教科になり、どのような評価をしたらいいのか、迷うことがありましたが、テキストを拝見し、具体的な記入の仕方、良い例と悪い例について知ることができました。とても助かりました。研修会でも使えるので、助かります。ありがとうございました。文科省のHPから探そうとしたら、テキストが見つかりませんでした。ここをクリックということがわかると、ありがたいです。（石川県公立小学校・女性）

・道徳教科書の資料と発問、指示が具体的に書いてあり大変役に立ちました。資料の価値、評価のポイントが明確に書かれてあり大変参考になりました。（山形県公立小学校・女性）

- ・初任者に紹介したことで、初任者は道徳の授業を早くやりたいと意欲が高まっていました。（東京都公立小学校・男性）

3 連携による研修についての考察

（連携を推進・維持するための要点、連携により得られる利点、今後の課題等）

開発したテキストは、国公立を問わず、校内研修会等で使用していただいた。

また、新年度を迎え、さらに多くの学校でテキストを使用した研修会を行なって欲しいという旨をメールでもお願いした。

取り組みの結果、「校内研修で使用しました」という声を多数いただいている。今後は教育委員会主催での本テキストを基にした勉強会が開催されることなどが期待される。

したテキストが作成されたことで終わることなく、幅広く活用されるように当団体としても周知を進めることが必要であり、予定をしている。

4 その他

[キーワード] 「特別の教科 道徳」 「考え、議論する道徳」 新学習指導要領
授業改善 研修 テキスト 指導方法・評価等 道徳科 発問・指示

[人数規模]

□「本事業の研修対象者として1日でも参加した人数の総数を次の記号の中から選ぶこと。補足事項があれば、()内にご記入すること。

A. 10名未満 B. 11～20名 C. 21～50名 **D. 51名以上**

補足事項 (【研修1】の参加者数: 43名、
【研修2】ダウンロード数 1296件、アンケート回収数 231件)

[研修日数(回数)]

□「受講者が何日間(又は何回)の研修を受講したかを次の記号の中から選ぶこと。補足事項があれば、()内に記入すること。

A. 1日以内 B. 2～3日 C. 4～10日 D. 11日以上
(1回) (2～3回) (4～10回) (11回以上)

補足事項 ()

【担当者連絡先】

●実施者 □申請する大学名又は教育委員会名を記載すること

実施者名	谷 和樹
所在地	〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1 玉川大学大学研究室棟 307 号室
事務担当者	所属・職名 玉川大学 教職大学院
	氏名(ふりがな) たに かずき
	事務連絡等送付先 〒142-0064 東京都品川区旗の台 2-4-12 TOSS ビル 特定非営利活動法人 TOSS
	090-1021-3125、043-739-8233/042-739-8828
	K-TANI@TOSS2.COM

●連携機関 □共同で実施する機関名を記載すること

連携機関名	なし
所在地	〒
事務担当者	所属・職名
	氏名(ふりがな)
	事務連絡等送付先 〒